



和楽器と葵中生徒の合奏（市内中学校団体鑑賞会 9月19日）

主な内容

- 加茂市史 資料編5(民俗)を刊行 …… ②③
- 敬老会を開催 …… ④⑤
- 総体の結果 …… ⑤
- 歯の健康「認知症の方の歯の治療②」… ⑥
- カメラスケッチ …… ⑦
- 加茂の風土記「須田中学校校歌」… ⑧

百年に一度の唯一の好機！

新加茂病院に産科の個室 20室を確保しました！ 妊婦の方々は、皆 個室を希望しています。

新加茂病院の隣りに病児保育園を確保しました！ お金は加茂市と田上町が負担！

この二つこそ絶対必要な少子化対策！

産科の個室が1つでは、医師も妊婦もやって来ず、産科は実現しません。



加茂市史

資料編5 民俗



好評発売中

加茂市の諸施設で販売しています

6枚のDVD・CDディスク付きで
1,098頁の大作が 1冊 3,500円の格安です！

◆新潟県加茂市◆

加茂市史（民俗）が完成いたしました。
DVD・CDのディスク六枚に記録満載です。
CDは、DVDプレイヤーで聴けます。

まちうた

なつかしい里謡

なつかしい民謡・楽曲・校歌

踊りや神楽の映像も収録

大水害や上水道完成の映像も収録

これで滅びようとした多くの文化が後世に伝えられる。

これぞ民衆の歴史！

民俗学の決定版！

ぜひ各戸にこの一冊を！

六枚のDVD・CDのディスク付きで一、〇九八頁の

大作が一冊三千五百円の格安です！

加茂市の諸施設で販売しています。

販売場所 市役所社会教育課・市民課、市民サービスセンター（上町）、市内各コミュニティセンター、図書館、民俗資料館、公民館、みやげものセンター、加茂美人の湯、冬鳥越スキーガーデン

問い合わせ 社会教育課（☎ 52-0080 内線 480）

敬老会

5,308人に招待状



敬老会が九月十八日、市民体育館で開催されました。

台風十八号の通過による風雨が心配されましたが、交通の乱れもなく、予定通りに開会を迎えることができました。この台風の影響に備え、記念品の代理受領所は、加茂山公園駐車場から公民館一階入口に変更されました。

今年、招待状が送られた七十五歳以上の方は五千三百八人です。最高齢は明治四十年生まれの百十歳の方で、百歳以上の方は市内に二十八名（平成三十年三月三十一日での満年齢）おられます。会場には約五百名の方々からご来場いただき、はじめに小池清彦



加茂市長から「最近の医学の発達が目覚ましく、皆様には百二十歳を目指して活躍していただきたいです。市内では県立加茂病院の建て替えや病児保育園の建設など医療体制の充実が進められています。また、十二月からは猿毛から上

条・加茂病院を経由して市役所・西加茂地区を結ぶ市民バスが運行が始まることで、皆様の利便性が向上すると思います。」と話した後、最後に三国志の魏の曹操の詩「老驥（ろうき）に伏すれども志千里（ちせんり）に在り（あ）烈士（れつし）暮年（ぼねん）壯心（さうしん）息（いき）まず（ま）ず」を贈りました。

続いて菊田真紀子衆議院議員、金子恵美衆議院議員、金谷國彦県議会議長、森山一理市議会議長、金澤理久夫社会福祉協議会会長、金子勝男区長会会長からお祝いの挨拶をいただき、記念品贈呈では、今年九十五歳になられた本田トキさんへ小池市長から祝い状と記念の座布団が贈られました。

そして加茂市連合婦人会から恒例の赤・黄色・ピンク三色のカーネーションが一人ひとりに手渡されました。この後のアトラクシヨ



ンには、美しいフラダンス加茂、ザ・松坂、加茂松坂子ども教室、星栄会の皆さんから、踊りと演奏が披露されました。

ミス雪椿が一日警察署長

敬老会アトラクシヨンの後、ミス雪椿クイーンの前寒河江美樹さんが加茂警察署の一日署長としてステージに登場しました。

寒河江さんは「長寿を祝うこの会場で、皆さんの元気な顔を拝見できてうれしく思います。これからも笑顔で幸せな毎日を過ごしてもらうため、交通安全と詐欺の被害にあわないように気をつけて

ください。」と呼びかけました。
次に加茂警察署署員が人形に扮した腹話術を披露し、夜光反射材を身に付けて自動車からよく見えるようにすること、不審な電話は詐欺を疑い、被害にあわないポイントを話しました。
そして敬老会終了後、帰る際に夜光反射材と啓発チラシを配付して、事故・被害防止のPRをしました。



第60回 総体結果



硬式テニス
(シングルス)

期 日 9月3日

会 場 駒岡庭球場

【Aクラス】▼男子①鈴木雄也(加茂ローン)②橋本国定(加茂フレンドリー)③金子慎(KIT)③中島昭(加茂ローン)▼女子①中山佐和子(シテイサークル)②大桃さおり(加茂テニス)③五十嵐美智子(加茂フレンドリー)
【Bクラス】▼男子①金子侑生(加



サッカー

期 日 9月10日

会 場 加茂市サッカー場

茂ジュニア)②五木田充弘(加茂フレンドリー)

【シニアの部】①南葛FC



ソフトテニス

期 日 9月10・17日

会 場 庭球場(駒岡)

【小学生の部】①藤田優花・吉田優羽(スポ少)②太田彩保里・小柳瑠

乃(スポ少)③斉藤彩華・三村乙葉

(スポ少)③関根周渡・石黒遼悟

(スポ少)

【一般・高校男子の部】①小川伸・

高橋啓二(協会)②田村浩一・石井

理仁(協会)③佐藤諒・近藤史弥

(加茂農林高)

【一般・高校女子の部】①太田奈保

美・太田茉奈果(協会)②長谷部

凜・船久保翠(加茂農林高)③高橋

智子・高橋優佳(協会)

【中学生男子の部】①相田遥樹・鶴

巻颯太(若宮中)②中名林朋大・目

黒叶羽(若宮中)③外山敦也・坪谷

拓実(若宮中)③飯岡蓮・坂上瑠都

(若宮中)

【中学生女子の部】①太田茉奈果・

石黒結衣(加茂中)②瀧澤真白・小

柳由乃(葵中)③山田菜々美・山口

莉央(葵中)③荒井奏美・斎藤日和

莉(加茂中)



空手道

期 日 9月23日

会 場 勤労者体育センター

【形】▼小学生(1・2年)男子①

長谷川稜(真和会)②福井泰人(加

茂)③長谷川憲人(加茂)③長谷川

駿(真和会)▼小学生(低学年女子

無級者)①近藤真琴(加茂)②小柳

結花(加茂)③長谷川あかり(加茂)

▼小学生(3・4年)①鈴木紗栄

(加茂)②片桐恵里奈(加茂)③福

井陸斗(加茂)③渡辺大雅(加茂)

▼小学生(5・6年)①長澤和花

(加茂)②萱森爽馬(真和会)③近

藤正太郎(加茂)③渡辺凱(加茂)

▼中学生男子①安中大和(加茂)②

山岸祐翔(加茂)③大野青空(加茂)

▼一般男子①小柳龍輔(加茂)②長

谷川圭(真和会)

【組手】▼小学生(1・2年)男子

①長谷川稜②小池月光(加茂)③長

谷川憲人③小野蒼(加茂)▼小学生

(低学年女子無級者)①近藤真琴②

長谷川あかり③小柳結花▼小学生

(3・4年)①鈴木紗栄②片桐恵里

奈③渡辺大雅③捧迅(真和会)▼小

学生(5・6年)①渡辺凱②武田ジ

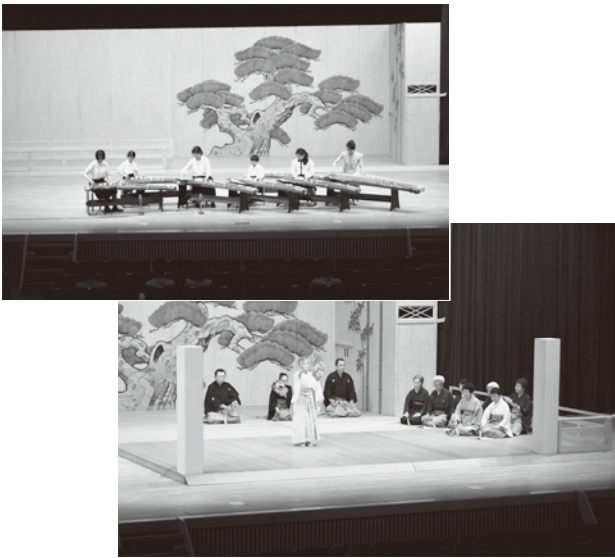
エイ(加茂)③長澤和花③大場惇生

(加茂)▼中学生男子①山岸祐翔②

大野青空③安中大和▼一般男子①長

谷川圭②小柳龍輔

カメラ スケッチ



第39回市民芸能祭（9月24日）

伝統芸能を披露する機会に限られる中で、この市民芸能祭はいろいろな演目を一度に鑑賞できる舞台となっています。この日は、神楽、能楽、大正琴、詩吟、邦楽に十二団体が出演しました。



交通事故「ナシ」キャンペーン(9月21日)

秋の交通安全期間にあわせて、加茂特産の和梨をおみやげに、安全運転の街頭PRが行われました。小池加茂市長、大澤加茂警察署長、小柳加茂地区交通安全協会長、山田JAにいがた南蒲経営管理委員等が出席しました。JAにいがた南蒲の協力で用意された旬の「豊水」梨二百セットを、ミス雪椿クイーンの寒河江美樹さんとミス雪椿の小玉早矢夏さんや加茂地区交通安全協会の皆さん等が、指導所を通るドライバーに手渡していきました。



第17回加茂市長杯冬鳥越 クロスカントリー大会結果

期日 9月24日

会場 冬鳥越スキーガーデン周辺

周回コース

出場者数 37名 完走36名

〔2kmコース〕

▼小学生男子の部①金塚大和(石川小) ②鶴巻来音(石川小) ③皆川武蔵(石川小) ▼小学生女子の部①目黒晴香(加茂小) ②廣川七海(ジュニア陸上・石川小) ③斉藤花苗(三条・大崎小) ▼中学生女子の部①齋藤千之(葵中) ②浜

田瑠梨(若宮中) ③山田紗良(若宮中) ▼壮年女子の部①斉藤亜津子(キママニ食堂) ②皆川敬子 ③青柳美和子

〔3kmコース〕

▼中学生男子の部①佐郷幸多(葵中) ②井上卓哉(葵中) ③高橋慶(葵中) ▼壮年男子の部①遠藤徹(若宮中教) ②鶴巻俊央 ③土田広芳(株安藤プロパン)

〔5kmコース〕

▼高校一般男子の部①小柳泰治(加茂農林高) ②船久保徹(加茂地域消防署) ③笹川義剛(新潟医療技術専門学校)



堀口大学の愛弟子の作

須田中学校校歌

須田中学校の校歌は、昭和三十三年（一九五七）に、創立十周年記念として校旗の樹立とともに制定された。作詞は加茂南小学校の校歌も手掛けた随筆家で詩人の岩佐東一郎（一九〇五～七四）、作曲はピアノリストの天地真佐雄（一九一〇～九二）である。

岩佐は、若宮中学校の校歌を作詞した堀口大学の門弟第一号といわれ、年の暮れによく歌われるベートーベン作曲の交響曲第九番「歓喜の歌」の訳詞者として知ら

れる。NHKラジオの名物番組「とんち教室」にも出演していた。当時、PTA会長だった小式沢甲五郎が、同じ番組の常連で柏崎市出身の柔道家石黒敬七を介して校歌を依頼したといわれる（「広報かも」平成12・7）。昭和二十七年（一九五二）に岩佐は加茂南小学校の校歌を作り加茂を訪れていたが、須田には来ていない。岩佐の死去の折、葬儀委員長を務めた堀口大学は、師に先立った愛弟子を悼み次の詩を捧げた。

君も急ぎ逝き給うか
知らず 何のゆえと
梅に遅速あり

知らず 何のゆえと
聞かまほし かの鶯に
何ゆえの花の遅速ぞ

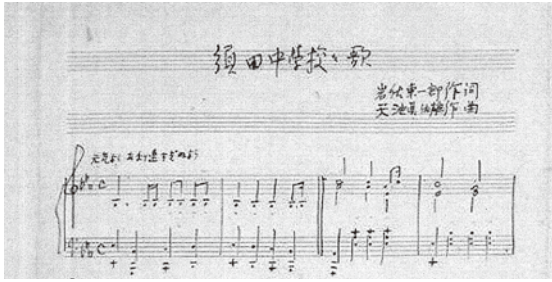
『東天の紅』より

天地は、NHKの「ラジオ体操」「三つの歌」の伴奏者を勤めていたが、娘の歌手天地総子の方が良く知られている。

須田中学校には、作者自筆の原稿と楽譜が残る。岩佐は漢字すべてにふり仮名をつけ、四〇〇字詰原稿用紙一枚にきっちり納めた。天地はNHK専用の五線紙を用い、伴奏と斉唱用二種を作り、伴奏用の譜面に「元氣よく、あまり速すぎぬよう」と思いを書き添えた。表紙には角印が押され「昭和32年10月31日作」と作曲日も明確である。

作者から校歌の合唱と独唱二本の録音テープが送られ、在校生はこれによって練習したと、前須田の石崎茂氏は思い出を語る。
(長谷川昭一)

加茂の風土記



一 流れは清い 信濃川
青空うつす 姿もて
はげむは我ら 若人よ
四季折々の 花ひらき
明るい心に 実を結ぶ
理想の光 求めつつ
須田中 須田中 須田中
われらが母校
二 はるかに仰ぐ粟ヶ岳
いたたく雪の 心もて
まなぶはわれら 若人よ
眉清々し ひとすじに
きたえる姿を 君知るや
希望と夢を 雲にのせ
須田中 須田中 須田中
われらが母校
(須田中学校所蔵、附録105)

天地真佐雄の自筆原稿（写真上、伴奏用・一部）。下は須田中学校校歌の歌詞（加茂市史第五巻「民俗」より）

社会福祉費寄附金

▼加茂市民ゴルフ大会実行委員会から 十四万千円



人口のうごき

9月1日現在
世帯 10,309 (+6)
人口 27,880 (-38)
男 13,518 (-14)
女 14,362 (-24)
()内は前月比
(8月異動分)
出生 5 (男2女3)
死亡 30 (男16女14)
転出 45 転入 32